

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	造園技術3	
科目基礎情報					
開設学科	土木・造園科	コース名		開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位	授業形態	講義		
教科書/教材	造園施工必携 日本造園組合連合会				
担当教員情報					
担当教員	佐藤光宏	実務経験の有無・職種	有・施工管理		
学習目的					
造園技術3においては、造園技術1および造園技術2など2年次前期までの造園分野の学習内容をあらためて取り上げ、造園の計画から管理運営までを総合的にとらえ直し、造園のプロセス全体を俯瞰して理解することを学習目的とする。					
到達目標					
造園技術3では、次の3点を到達目標とする。 ①造園計画・施工・管理運営の特性を理解する。 ②造園計画・施工・管理運営のプロセスを理解する。 ③現代の造園が抱える課題に対し解決への道筋を見つけるための基本的な知識や考え方を理解する。					
教育方法等					
授業概要	この授業は、講義の形式をとるが、ただ授業に出るだけではなく、自ら主体的に学ぶ姿勢を持つことが重要である。テキストのほか、映像や配布プリントを活用する。必要な知識を確実に身につけるため、予習・復習をすることを求める。				
注意点	自ら問題意識を持ち、課題解決に向けて具体的に考えることを求める。理由のない遅刻や欠席は認めない。やむを得ず欠席した場合は、自ら申し出て、授業内容を確認し、取り返す努力をすること。授業時間数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備考		
	試験	50%	期末試験の結果を評価する。		
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する。		
	レポート	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する。		
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	造園の理念と課題	造園とは何かを考え、現代の造園の課題について自ら考えることができる。			
2回	造園計画①	造園計画の基本的構成とプロセスについて理解する。			
3回	造園計画②	都市における造園計画（公園、住宅、団地、街路、オフィス等）について理解する。			
4回	造園計画③	自然再生、里山・里海、水辺等に関わる造園計画について理解する。			
5回	造園計画④	学校、テーマパーク、工場等、さまざまなフィールドにおける造園計画について理解する。			
6回	造園施工①	造園施工の特性とプロセスについて理解する。			
7回	造園施工②	基盤造成、施設施工、植栽施工について施工管理の立場から理解する。			
8回	造園施工③	造園の施工管理について理解する。			
9回	造園管理①	造園管理の特性と基本的な考え方について理解する。			
10回	造園管理②	植栽管理について理解する。			
11回	造園管理③	空間管理について理解する。			
12回	運営と経営①	維持管理から管理運営への変化を理解する。			
13回	運営と経営②	公園、住宅地、集合住宅の管理運営について理解する。			
14回	運営と経営③	自然公園、里山の管理運営について理解する。			
15回	総まとめ	14回までに取り上げた内容について復習し、理解する。			